2019

4

vol.542

あなたがいて、わたし、がある。



〜学び続ける姿勢で人材育成を〜」海外視察研修レポート

https://www.yuai.j

昭和63年1月18日第三種郵便物認可 4月号/平成31年4月1日発行



発行日: 偶数月1日 / 価格: 1部160円 / 発行者: 大場公孝 / 発行所: 社会福祉法人侑愛会(北海道北斗市追分7丁目8番9号)

****社会福祉法人侑愛会

社会福祉法人侑愛会 学校法人ゆうあい学園 www.yuai.jp

学校法人 ゆうあい学園

竹下敏 木村 大 石 斉 戸谷浩 谷裕 場 幹 靖 公 み ち 雄 子

社会福祉法人 侑愛会

西谷裕幸 祐 中 佐 竹 大場 · 野 伊 直栄 下敏 ĴΪ 靖 公 知

施設長紹介

役員紹介

施設長の皆さんの胸に貼ら れた青いワッペンは、世界自 閉症啓発デー in Hakodate





平成31年度もよろしくお願い申し上げます

おしま学園

星が丘寮 園長 中野伊知郎

| ねお・はろう 園長 夏目智志

新生園

園長 和島武宏

明生園

| サポートかわつき 園長 佐直栄一

| ワークショップまるやま荘 園長 紀谷智彦

侑愛荘

園長 祐川暢生

函館青年寮 相談4機関

園長 前田典之

| 侑ハウス 園長 高田久嗣

| ワークショップはこだて 函館青年寮通所部 園長 小谷高大

おしま菌床きのこセンター 園長 三山美由紀

おしま屋 サポートはまなす

所長 細谷武浩

クッキーハウス | ワークセンターほくと 園長 小黒康廣

| サポートカーム 管理者 伊藤繁昭

つくしんぼ学級 おしま地域療育センター 園長 金沢京子

七重浜こども園 当別保育園 園長 杉本聖子

| 浜分子ども園 園長 佐々木若子

ゆうあい会石川診療所 所長 高橋和俊

ゆうあい会診療所 あおいそら 所長 大場公孝

ゆうあい幼稚園 園長 大場靖子

2019 (平成31)年度にむけて

2018年度は障害福祉サービスの報酬改定の年でした。新たな加算への対応等はスムー ズだった一方で、日中サービス支援型共同生活援助など新規のサービス類型の研究は積み 残された課題となりました。

施設整備では念願の「ねお・はろう」の新築移転が実現しました。施設の児者転換以降、狭 隘な居住空間で生活してきた利用者の方々に快適な暮らしの場を提供でき、また自閉症の 障がい特性に配慮した個別支援を展開できる環境が整えられたことを心から喜んでいます。

2019年度は春に元号が改まるなど、変化の年になります。私たちゆうあいにとっては5か 年計画が第3期から第4期に切りかわる変化の年です。全面的に改訂された指針によって、 私たちが直面し、取り組むべき課題を職員全体で共有しながら、着実な取り組みを進めてい きたいと思います。

第4期5か年計画は事業計画、運営計画、財務計画の3つの柱からなり、それぞれに重点 課題が設定されています。以下、5点に絞って、課題と計画を示します。

【施設整備】

つくしんぼ学級の増改築を実施し、そこに函館市石川地区からおしま地域療育センター と障害児相談支援事業を移転します。それを機に、児童発達支援(母子通園・単独通園)、日 中一時支援、保育所等訪問支援などの一元的な展開が可能となり、障がい児サービスが集 約され、情報と人が集まることで、地域における障がい児支援のセンター的機能を発揮でき るものと期待しています。



入所施設だけではなく、地域生活、在宅生活の方々にも重度化・高齢化の傾向が顕著です。 加齢によって機能低下した方々に対する適切な環境の整備、支援のあり方を検討します。ま た、自閉症支援の専門性向上とともに、自閉症者の地域生活の拡充が求められます。自閉症 支援に特化したグループホームすばるとカームVを一体的運営の下に統合し、サポート機関 として「サポートすばる」を立ちあげることで、そのニーズに応えていきます。

【サポート体制の再編、見直し等】

グループホームを支援する4つのサポート機関では、利用する方々の変化によって必要な 支援の質と量が不均衡になっており、再編の検討が必要です。またグループホーム「ぱれっ と」の今後の展開の検討を含め、ワークショップはこだて、函館青年寮通所部、函館青年寮に おける日中活動体制の再編の課題や、利用児童が経年的に減少しているおしま学園の定員 見直しの課題、そして当別保育園の存廃に関わる検討の課題等々――これらの抜本的な再 編、見直しを要する問題について解決の道筋を見出していきます。

【人材確保・定着・育成と働き方改革への対応】

福祉事業の基礎は何と言っても人材です。志ある人材を見出し、育成する努力は、ゆうあ いのすべてを決定づける最重要課題です。国が進めようとしている「働き方改革」への対応は、 単なる国の施策への追従ではなく、職員にとって魅力ある職場づくりを通して人材定着を図 り、支援の質を向上させる取り組みです。

【危機管理体制の構築】

ここ数年、私たちは災害が決して対岸の火事ではないという切実な実感を抱くようになり ました。事業継続を阻む危機に備え、利用する方々の命を守ることは私たちの絶対的な責務 です。災害対策委員会を中心に、危機に際して生命を守り、事業存続を可能にする体制の構 築を進めます。



社会福祉法人侑愛会 学校法人ゆうあい学園 理事長 大場 公孝

海外視察研修

〜学び続ける姿勢で、人材育成を〜

今回の特集では、昨年3月に海外視察をした職員お二人のレポーみを行っています。入、コンサルテーション、研究論文の表彰、資格取得の助成などの入、コンサルテーション、研究論文の表彰、資格取得の助成などの もちろんのこと、様々なにしてきました。日々の ーション、研究論文の表彰、資格取得の助成などの取り組と、様々な研修や視察の機会をつくったり、外部評価の導

コペンハーゲン国際空港到着後

左: 木村看護師、右: 竹田看護師

4

侑愛荘 看護師

木村 とも子

フス市、コペンハーゲン市の視察調査に参加さ 護及び日常的な世話が必要な行動障害を有 自閉症等で行動障がいのある方の医療ニー ズの調査(市川班、医療的管理下における介 ン行程で、デ 平成30年2 る者の実態に関する研究)のために、オ 年3 ンマ 月5日 クにおける、知的障がい、 日~3月13日の8泊9日

の障がい者の数は約1200 日目、最初の訪問地で ク第二の都市で人口約33万 ビスが整ったデンマ あるオ クの中でも特 -フス市は 程度です 人、その

二日目午前に訪問したボ ビスの充実した地域を視察しまし -センタ

ボーガーセンター・ウエスト 日中活動のスケジュール提示

し、出来ることに目を向け本人をそのままとです。職員は「利用者に何が出来るか認識 度の障がい者が多いことが特徴であり、オつのサービスの場から構成されています。 る」と説明をしてく どのようにヘルプできるかを考え支援して 敬意を払い、その人らしく生きるためには 受け止め、持っている強みを活かし導くこと、 の居住ケアの場が周辺に点在しているとのこ 18歳から30歳の26名)、その他8~ は、中庭から見える場所にグループ住宅(ア (利用者36名中 た場所を日中活動の場に使用し、 ス市の運営、職員もオー 自閉症支援の基地的機能を持っている所 脱施設化前に入所施設と 見学した場所はその中でも重度利用者 した場所は、自閉症の方が多く住んで -の一つで、 「重度24名)の日中活動の場 フス市に、 、居住ケア、日中活動等の れまし レ、シャワ 4つある障がい者 フス市職員です して利用 10名程度、一付居室、 、居住ケア 重

できる内 とが見受けられま しょに決めていま 日中活動のスケジュールは、その日に提供 自己決定支援の方針を徹底しているこ 容から本人自身と支援者が した。重度の利用者に対 した。重度の利用者も

> 援、生活介護を受けている重度の利用者 利用者もいました。現在、日本で施設入所支 な単位ではなく ような形であ た。見学時、着替えの介助を受け 。居住場所、日中活動の場とも、 れば、暮らして行けるのでは 小さな集団での支援となっ る

0

業後、実際の仕事が必要と考え、

ために、まず、自閉症専用の学校を作り、

40年前に、自閉症と診断された子供たち

民間の運営する50名定員の福祉作

クで最も歴史のあるSOV四日目にはコペンハーゲン

目にはコペンハー

ゲン市郊外、デンマ

| 作業所を見学

に親たちが作った」とのことです。

今は自閉症 972年

の方だけではなく、知的障がいの方もいて、

です。ここ4年ほどの間で高齢期(60歳

もしている

6人) にさしかかった自閉症の方



0

上写真: 利用者の方を交えて記念撮影 下写真: 作業の実際 閉症で就労のできる方のサポ

975年スカンジナビア半

島で

前日見たSOVI作業所に、通っている利用最初に出来た自閉症者専用のもの)を見学。 によって作られ、運営は民間、10 ある利用者をどのように支援するのか、悩いって仕事をリタイアするのか、こだわり ていただきました。コペンハー 式(新基準)の居住場所、2か所を見学させ で始めたが、現在は、8人利用の一軒家 (開設 でいる所だとのことでし の支援を考えているそうで、65歳だからと 以上が5~ 五日目には、コペンハーゲン市郊外のグ

いました。自閉症者の親の会の

人の利用を

働きかけ

作業所に、通って

SOVI作業所の構造化されたスペース 民間のサー

らまの

旧基準)と16

ト 形

-ビスが2%程度あるそうです。

ゲン地域では

について報告させていただきたい ただきました。ここでは、学校や支援機関等 援学校や支援機関等を訪問、見学させて と思います

たデンマ 所での私の目指している支援と共通する部 アステン・コー 徒自身が能動的に動けるよう 後に一人でも自立していけるように人との の方が対象のASDの方のための特別支援 せることでした。この2校の見学では、診療 目標は、家族以外の る不登校の生徒のための学校です。ここでの ルであるCAT れていました。また、S き合い方や社会の常識などを学んでお ていただきました。ST 学校とSt う不登校の生徒のための学校に訪問させ hoolは認知感情ト ークでも先進的な取り組みをしてい ルセン氏が数年前に設立され を押され と呼ばれる18歳から 人や場所で安心して過ご Uでは、彼らが卒業 著者の一人であるキ た気持ちにな S c h o o a な支援が ーニングツー を行われる こうこう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう アイカ 21

供

当たり前に行って

いる支援が

査では他のメンバ

ーからも多く

着いている。居室見学時、入り口の木の柱を動障がいのある利用者もいたが現在は落ち

なりました。しかしその中でう、ちこ・バー質の高い支援に触れることが出来た機会と 今回の視察調査では、デンマ Ó 中で

七重浜こども園

星が丘寮

函館青年寮

明生園

●発行者/大場公孝 ●発行所/社会福祉法人侑愛会/北海道北斗市追分7丁目8番9号 ●「昭和63年1月18日 第三種郵便物認可

に、行動障がいがあり、医療的な治療を受け

る方もいたが、今は落ち着いている」との話を

え方の違いが分かってきた。ここに来たときこうすべきと考えたが、今は違う。個々の考

考えている。以前は聞き

もしないで、支援者が

査では、質の高い福祉・教育を提供している

ンドに次ぎ2位という国です。

今回の視察調

出来る高福祉国家です。国連が発表する「世 費、教育費などは殆ど無料で受けることが

個人で考え方に違いがあり、同じではないと

ある。以前は同じ箱の中に暮らし、同じこと

今は違う、

個人は

した居住者もいた。職員の考え方の変化が

居住施設や日中活動の場、そして特別支シマークにおける自閉症や知的障がいの方 3 数 5

後を迎えるのか、

医療とのかかわりをどう

えた支援を受けてきた方々が、どのような老

いる私にとって、

、今後、自閉症の特性を踏ま

と言えます。高齢期支援の現場で仕事をして

も密に連携しなくてはならない時期である

かってきているのだと痛感しま

。医療と

掛

齢よる支援の共存が必要な時期に差し

代が60歳以上になり、障がい特性の支援と加

今回の視察で、自閉症の診断を受けた世



上写真:STUの生徒作品 下写真:STUの教室風景

\ 平成30年度 /

斉藤 美雪 こども園での特別支援の実践 ~子どもの持っている素敵な力を生かす保育を考えて~

大場茂俊賞受賞論文

森 悠葵 星が丘寮における余暇支援の取り組み

安心して生活できる日常の提供を目指して ~TTAPを活用した再アセスメントからの取り組み~ 松田 成美

初めての横造化

更に勉強したいと意欲を持つことが出来た られる機会となりました。また、この視察調 していくことが出来るものであると感じ した。自分自身が行っている支援を見直す の刺激を受け ら持って提

機会を得たこと、障がい特性や支援につ

とが私にとっ

ての大き



デンマークで最初に出来た自閉症者のグループホームの居室

の精神科医市川宏伸先生、白梅大学教授の日本自閉症協会会長等数々の肩書をお持ち

に同行させていただきました。視察調査のメ

ーは日本発達障害ネット

ク理事長

労働省研究班(市川班)デンマ

成30年3

日の6日間、厚生

/視察調査

竹田 奈津子 ゆうあい会石川診療所

看護!

そして侑愛荘看護師の木村とも子さんと私

名でした。

担である代わ

りに、医療費や介護福祉

クは、消費税25%、

所得税50%と

台病院の児童精神科医山脇かおり先生

翻訳をされている鈴木正子さん、熊本県向 堀江まゆみ先生、自閉症に関する数々の本の

スターフィッシュスクールにてCAT-KITを説明する

キアステン・コールセン氏



社会福祉法人侑愛会 学校法人ゆうあい学園 www.yuai.jp